

「ワクチン、アジュバント開発研究の最前線」

- 日 時 2016年11月15日(火) 10:00~16:20
 ■ 場 所 千里ライフサイエンスセンタービル 5階 山村雄一記念ライフホール
 (大阪府豊中市、地下鉄御堂筋線 千里中央駅北口すぐ、大阪モノレール 千里中央駅下車 徒歩約5分)

■ 趣 旨

2011年、ノーベル医学生理学賞が、アジュバントの作用機序に関する自然免疫や樹状細胞研究に授与されてからはや5年が経過し、自然免疫、樹状細胞に関する基礎研究成果がワクチンなどの臨床応用研究へ広がりを見せている。特にアジュバントが必要とされるワクチンの臨床応用の対象は感染症の枠を超え、がん、アレルギー、アルツハイマー病など非感染性疾患に広がっており、その開発は世界的に競争が増している。

一方基礎免疫研究分野でも新たな潮流の変化が見られている。とくに病原体の認識機構の研究で勃興した自然免疫の領域では、宿主細胞自体のストレス、ダメージ、細胞死が、病原体に対する免疫反応やワクチンのアジュバント作用機序、がんやアレルギーに対する免疫反応などの防御的免疫反応のみならず、原因不明の自己免疫疾患、自己炎症性疾患などの作用機序の一端を担っていることが明らかになりつつある。

本セミナーではこのようなワクチン、アジュバントの開発に直結する研究領域にて新たな知見を発表されている新進気鋭の研究者に集っていただき、まったく新規のワクチン、アジュバントの開発や、有効性、安全性の高いワクチン開発への礎となる会になることを切望する。

■ コーディネーター

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 上席研究員 石井 健
 九州大学生体防御医学研究所 分子免疫学部門 教授 山崎 晶

■ プログラム

- 10:00~10:10 はじめに 石井健 (医薬基盤・健康・栄養研究所 上席研究員)
 10:10~10:45 細胞ダメージセンサーとしてのCタイプレクチン受容体
 山崎 晶 (九州大学 生体防御医学研究所 分子免疫学分野 教授)
 10:45~11:20 上皮死細胞によるアレルギー、炎症制御
 渋谷 彰 (筑波大学生命領域学際研究センター 教授)
 11:20~11:55 インフルエンザウイルス感染に対する宿主核内応答機構
 今井 由美子 (秋田大学大学院医学系研究科 情報制御学・実験治療学講座 教授)
 (昼食休憩 11:55 ~ 13:00)
 13:00~13:35 癌細胞のDAMPsと自然免疫
 河合 太郎 (奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科 分子免疫制御 教授)
 13:35~14:10 制御性T細胞による自己免疫寛容のメカニズムとその破綻
 堀 昌平 (理化学研究所 統合生命医科学研究センター 免疫恒常性研究チーム チームリーダー)
 (昼食休憩 14:10 ~ 14:25)
 14:25~15:00 死細胞からのシグナル放出のイメージング
 山口 良文 (東京大学大学院薬学系研究科 遺伝学教室 准教授)
 15:00~15:35 マクロファージによる死細胞貪食と免疫制御
 田中 正人 (東京薬科大学 生命科学部 免疫制御学研究室 教授)
 15:35~16:10 細胞ダメージによる核酸の認識機構とアジュバント開発
 石井 健 (医薬基盤・健康・栄養研究所 上席研究員)
 16:10~16:20 おわりに 山崎晶 (九州大学 生体防御医学研究所 分子免疫学分野 教授)

- ◎ 定 員 200名(申込順)
 ◎ 参 加 費 無料(事前申込が必要です)
 ◎ 申 込 方 法 氏名、所属、〒住所(連絡先)、電話番号、Eメールアドレスを明記の上、
 Eメールで下記宛てお申込み下さい(FAX、郵便も可)。
 ◎ 申 込 先 公益財団法人 千里ライフサイエンス振興財団 セミナー K4 係
 E-mail: tnb@senri-life.or.jp FAX: 06-6873-2002

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1-4-2 千里ライフサイエンスセンタービル 20階
 TEL: 06-6873-2001 (URL: <http://www.senri-life.or.jp>)